



【読書】キャラクター「おっほん」

実施期間

【10/25~2/28】

札幌市立中の島中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

■図書局会の取り組み

図書局では、図書館運営として利用者への声掛けや見回りもこまめに行っています。その他に、定期的なイベント活動を行っています。今年度は、七夕に合わせた短冊コーナー作りや、バレンタインに関連させ、レシピ本や恋愛小説等のコーナー作りや教員おすすめ本の設置など、季節に合わせたイベント活動を行い、それをきっかけに図書館へと足を運ぶ生徒が増えたように感じます。その他、長期貸し出しに合わせて、図書局員が選んだおすすめ本を包んで配置する福袋イベントや、栄の作成等、常に局員が主体となり、足を運びたくなる空間作りを行うことで、本を好きな生徒が増えるような活動を心がけています。

■温かい図書館づくりを目指して

年間を通して、館内や入口に飾るための装飾づくりを行いました。常に華やかで楽しい雰囲気にして局員含め笑顔の多い図書館にできたように思います。本校は今現在、気軽に図書館へ足を運ぶ生徒が多いため、より良い空間作りを局員と協力し行っています。また、気軽に本を手に取ってもらうために、幅広いジャンルの本を揃えることで多くの生徒の手助けができるような図書館にしていきたいと考えています。

学習センター＆情報センターとしての機能

■授業活用の図書(家庭科)

幼児とのふれあい体験を通して、子育ての大変さ、幼児の発達や特徴、生活について知る单元で、図書館で用意した絵本を用いて生徒が読み聞かせを行いました。幼児の月齢に合わせた本の選定、どのようにしたらよい読み聞かせができるかなどのポイントを学校司書に相談してとりくみました。

■授業活用の図書(国語科)

国語科では教科書に載っている作品や、著者の別の作品に触れる機会を持つもらうために、図書館の蔵書を授業で紹介したり、教師が読んでよかったものを、おすすめ本として展示したりしています。教師からのおすすめ本には生徒の関心が高く、長期貸し出しで借りていく生徒もいます。

■「トランクキット」の活用

トランクキットを貸して頂き、展示を行いました。今年度は「クマ展」としてミニ博物館のような形態にすることで、実際に触れて学ぶことができる貴重な体験となりました。

